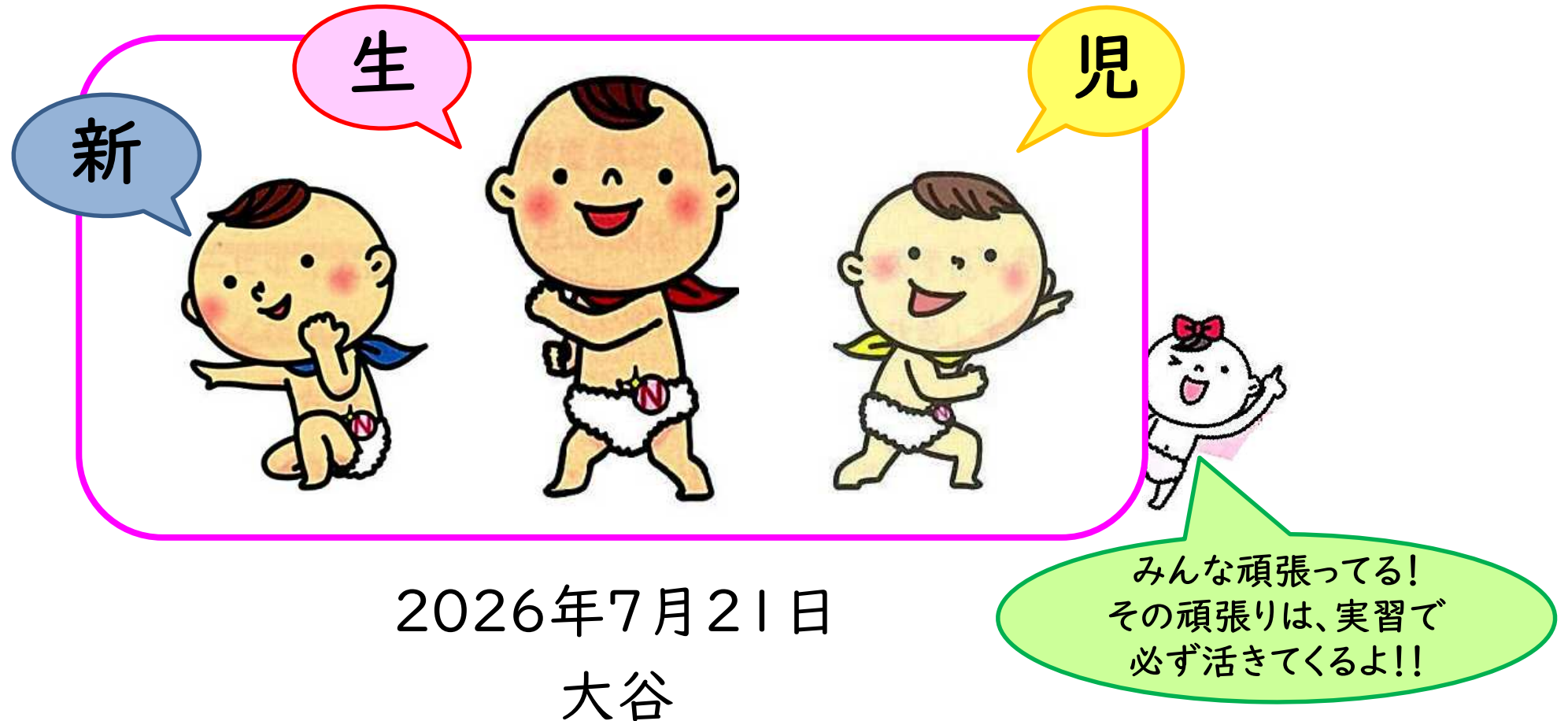


新生児期の助産診断・技術学



本日の授業内容



本日はこちら

新生児期の助産診断

Ⅰ.退院～Ⅰか月健診までの看護



家庭生活への移行 診断のポイント

経過診断

- ・ **バイタルサイン・全身状態**は安定しているか
- ・ **哺乳状況**は良好か
- ・ **体重**が増加し始めているか
- ・ **新生児黄疸**は正常範囲内か
- ・ 便の性状・臍・皮膚・頭部は日齢に応じているか

健康生活診断

- ・ 育児を行う**環境**が整えられているか
- ・ 育児技術は**安全**に行えているか
- ・ 養護され**愛着形成**は促されているか



退院が可能な母子の状態か

退院から1か月健診までの育児支援

- ①母乳外来
- ②電話訪問
- ③2週間健診
- ④助産師なんでも相談
- ⑤新生児訪問
- ⑥産後ケア
- ⑦保健センターの子育て支援体制や相談窓口

退院後も、いつでも相談できる窓口があることを退院前に伝えておく

茨城県助産師なんでも出張相談

茨城県の
委託事業

産後の方を対象に、産後のからだについて、授乳の悩み、育児について、助産師が訪問支援を実施。この事業は茨城県独自の子育て支援。茨城県の委託で茨城県助産師会が実施している。

対象

出産医療機関を退院した方で産後4ヶ月未満までの方
例) 4月10日出産の方は8月9日までの申し込みで利用可能

訪問時間

2時間程度

※相談内容により異なります

費用（自己負担額）

①県内居住者の方：1,000円（茨城県負担額 7,000円）

多胎児の方：自己負担はありません。

②県外からの里帰りの方：2,000円（茨城県負担額 6,000円）

利用回数は1
人2回(必要に
応じ1人3回ま
で利用可)

笠間市では・・・
「助産師相談」を
毎週月・水曜日
午前9～11時
(予約制)
無料

退院時のケア：母子健康手帳の記録

***** 出産の状態 *****

妊娠期間	妊娠	週	日
分娩日時	年	月	日 午前 午後 時 分
分娩経過	頭位・骨盤位・その他（ 特記事項		
分娩方法			
分娩所要時間		出血量	少量・中量・多量（ ml ）
輸血（血液製剤含む）の有無	無・有（		

出産時の 児の 状態	性別・数	男・女・不明	単・多（ 胎 ）
	計測値	体重	g 身長 . cm
		頭囲 . cm	胸囲 . cm
特別な 所見・処置	新生児仮死 → （ 死亡・蘇生 ） ・死産		

証明	出生証明書・死産証書・出生証明書及び死亡診断書 （死胎検案書）	
出産の場所 名称		
分娩取扱者 氏名	医師	その他
	助産師	

出産後・退院時の診察のときに記入してもらいましょう。

***** 出産後の母体の経過 *****

産後 日数	子宮 復古	悪露 状態	乳房の 状態	血圧	尿蛋白	尿糖	体重	EPDS等の 実施など
	良・否	正・否			- + 卅	- + 卅	kg	
	良・否	正・否			- + 卅	- + 卅		
	良・否	正・否			- + 卅	- + 卅		
	良・否	正・否			- + 卅	- + 卅		
	良・否	正・否			- + 卅	- + 卅		

母親自身の記録

- 気分が沈んだり涙もろくなったり、何もやる気になれないといったことがありますか。
いいえ はい 何ともいえない
- 産後、ご自身の気持ちやからだのことで、気がついたこと、変わったことがあれば、医師、助産師、地域の子育てに関する相談機関（こども家庭センター等）に相談しましょう。
- 産後のご自身の気持ちなど、自由に記入しましょう。

入浴	産後 日（月日）	家事開始	産後 日（月日）
家事以外の 労働開始	産後 日（月日）	月経再開	年 月 日
家族計画 指導	なし・あり（医師・受胎調節実地指導員・助産師）		年 月 日

助産師の
氏名が記
載されます
→一生涯
残る記録

このフリー欄も
確認。
介入のきっかけ
となるエピソード
があるかもしれ
ません

退院時のケア：母子健康手帳の記録

産後ケアを利用したときに記入してもらいましょう。

産後ケアの記録

年月日	方法	場 所	備 考
	密着・デイサービス・訪問		
	密着・デイサービス・訪問		
	密着・デイサービス・訪問		
	密着・デイサービス・訪問		
	密着・デイサービス・訪問		
	密着・デイサービス・訪問		
	密着・デイサービス・訪問		

地域の子育てに関する相談機関（こども家庭センター等）を利用したときに記入してもらいましょう。

利用記録

年月日	概要など	場 所

早期新生児期【生後1週間以内】の経過

日 齢	体 重(g)	哺 乳 力	黄 疸	そ の 他
		普通・弱	なし・普通・強	
		普通・弱	なし・普通・強	
ビタミンKシロップ投与	実施日 / /			
出 生 時 また は そ の 後 の 異 常	なし あり(その処置)			

退院時の記録 (年 月 日 生後 日)

体 重	g	栄 養 法	母 乳 ・ 混 合 ・ 人 工 乳
引き続き観察を要する事項			
施設名又は担当者名			電 話

後期新生児期【生後1～4週】の経過

日 齢	体 重(g)	哺 乳 力	栄 養 法	施設名又は担当者名
		普通・弱	母乳・混合・人工乳	
		普通・弱	母乳・混合・人工乳	

新生児訪問指導等の記録 (年 月 日 生後 日)

日 齢	体 重(g)	身 長(cm)	胸 囲(cm)	頭 囲(cm)	栄 養 法
					母乳・混合・人工乳
施設名又は担当者名					
特記事項：					

※生まれた当日を0日として数えること。

ベビーの経過
はこの欄に記
入。
K2投与の日
付、退院時の
体重も記録し
ます。

退院時のケア：母子健康手帳の記録

※ 検査の記録

検査項目	検査年月日	備考
先天性代謝異常検査	年 月 日	
新生児聴覚検査 (自動ABR・OAE) リファア(要再検査)の場合	年 月 日 年 月 日	右リファス・リファア 左リファス・リファア

※検査結果を記録する場合は、保護者に説明し同意を得ること。

予備欄

入院中に実施した検査の日時を記載します

便色の確認の記録

うんちの色に注意しましょう
朝早いところでカードの色と見比べてください。

1番～3番
に近い色だ
と思う

4番～7番
だったのが
1番～3番
に近くなった

どちらかが当てはまるときは、**胆道閉鎖症**などの病気の可能性がありますので、1日も早く小児科医、小児外科医等の診察を受けてください。

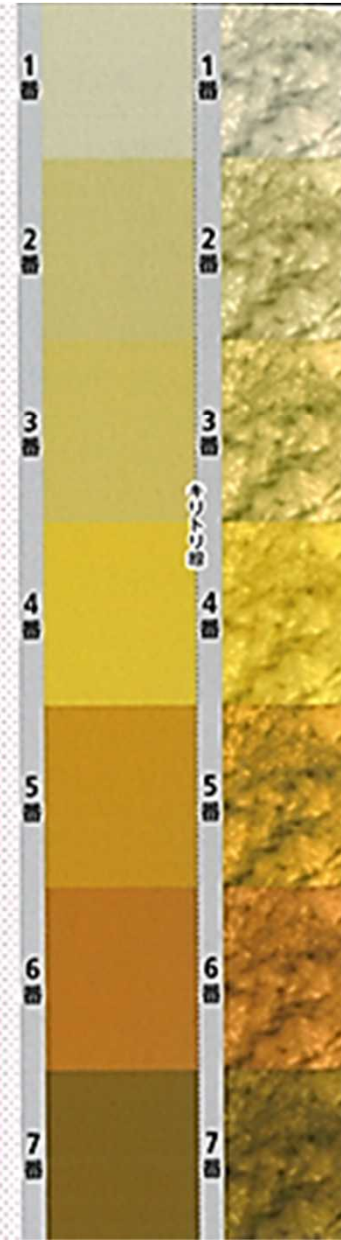
便色の記入欄 (観察日と右欄に当てはまる色番号)

生後2週	
年 月 日	番

生後1か月	
年 月 日	番

生後1～4か月	
年 月 日	番

生後4か月くらいまでは、うんちの色に注意が必要です。生後2週を過ぎても皮膚や白目(しろめ)が黄色い場合、おしっこが濃い黄色の場合にも、すぐに医師等に相談しましょう。



便のカラーカードのチェックの時期は2週間・1か月・1～4か月
※ただし、1～3番の便性時には速やかな受診行動を促す

退院時のケア:母子健康手帳の記録

保護者の記録

2週間頃

年

月

日記録

- 泣き声やお乳を飲む力が弱いと思いますか。 いいえ はい
- 寝かせるときは、あお向けに寝かせていますか。 はい いいえ
- 自動車に乗るとき、チャイルドシートを使用していますか。 はい いいえ
- 保護者ご自身の睡眠で困っていることはありますか。 いいえ はい
- 子育てについて気軽に相談できる人はいますか。 はい いいえ
- 子育てについて不安や困難を感じることはありますか。 いいえ はい 何ともいえない

* 成長の様子、育児の心配、かかった病気、感想などを自由に記入しましょう。

2週間健診時に記入して持参してもらう

フリーコメント欄にも関心を寄せて。介入のきっかけとなるエピソードが記載されているかも。

退院時のケア：母子健康手帳の記録

保護者の記録

1 か月頃

年

月

日記録

1か月健診時に記入して持参してもらう

年

月

日で1か月になりました。

- | | | | |
|----------------------------------|-----|-----|---------|
| ●裸にすると手足をよく動かしますか。 | はい | いいえ | |
| ●お乳をよく飲みますか。 | はい | いいえ | |
| ●大きな音にビクッと手足を伸ばしたり、泣き出すことがありますか。 | はい | いいえ | |
| ●おへそはかわいていますか。 | はい | いいえ | |
| ●寝かせるときは、あお向けに寝かせていますか。 | はい | いいえ | |
| ●自動車に乗るとき、チャイルドシートを使用していますか。 | はい | いいえ | |
| ●保護者ご自身の睡眠で困っていることはありますか。 | いいえ | はい | |
| ●子育てについて気軽に相談できる人はいますか。 | はい | いいえ | |
| ●子育てについて不安や困難を感じることはありますか。 | いいえ | はい | 何ともいえない |

*成長の様子、育児の心配、かかった病気、感想などを自由に記入しましょう。

フリーコメント欄にも関心を寄せて。介入のきっかけとなるエピソードが記載されているかも。

退院時のケア：母子健康手帳の記録

1 か月児健康診査		年	月	日実施・	か月	日
体 重	g	身 長	cm			
頭 囲	cm					
栄養状態	良 ・ 要指導	栄養法	母乳 ・ 混合 ・ 人工乳			
健 康 ・ 要 観 察						
特記事項						
施設名又は 担当者名						

1日の体重
増加量(g)
を記載するこ
とも。

2週間健診のチェックポイント（退院後約10日前後）

①新生児の体重増加（退院後18～35g/日）

②授乳方法

③哺乳意欲

④排尿回数

⑤便色と回数

⑥黄染と経皮黄疸計によるビリルビン測定

⑦臍帯脱落の有無と臍窩の止血と乾燥状況

⑧皮膚の状態

⑨退院後の育児の様子を伺う

退院時または、生理的体重減少のピーク時からの増加量を加味して評価する

母親（褥婦）の心身の状態

- ・児のいる生活への受け止め方
- ・育児困難感や育児不安
- ・児への声かけ、児の反応に応える行動
- ・食事はとれているか
- ・児のペースに合わせ、休息はとれているか
- ・過度の不安、緊張、自分を責める言動はないか
- ・パートナーの協力や理解とその満足度
- ・相談者や協力者の有無
- ・エジンバラ産後うつ病問診票(EPDS)
- ・赤ちゃんへの気持ち問診票

産後の生活はいかがですか。
実際に生活してみて、困っていること
や気になることはありませんか？

配布資料をチェック！
ボンディング障害をみる評
価の一つ（ツール）

1か月健診時のチェックポイント

- ①発育・発達は順調か
- ②先天異常や疾病が疑われる症状や徴候がなく、健康状態は良好か
- ③栄養状態は十分であるか
- ④適切な養育を得ているか
(保護者の育児感情に気をつける)

事故防止

●窒息予防

- ・やわらかい布団や枕は使わない(マットレスは固めがよい)
- ・口や鼻をふさぐ危険のあるタオルなどは、児の顔の近くに置かない。
- ・授乳後は排気を十分に行う。
- ・排気が出なかったら横向きに。

●誤飲予防

- ・近くに物を置かない。

●感染予防

- ・家族がうがい、手洗いを徹底する。
- ・必要以上に人ごみに児を連れださない。

1か月健診時のチェックポイント(発育は順調か)

1)体重

- ・当日の値と体重の推移
- ・1日あたりの増加量:()g/日

生理的体重減少の最小値
から換算

2)身長・頭囲・胸囲(生後1カ月)

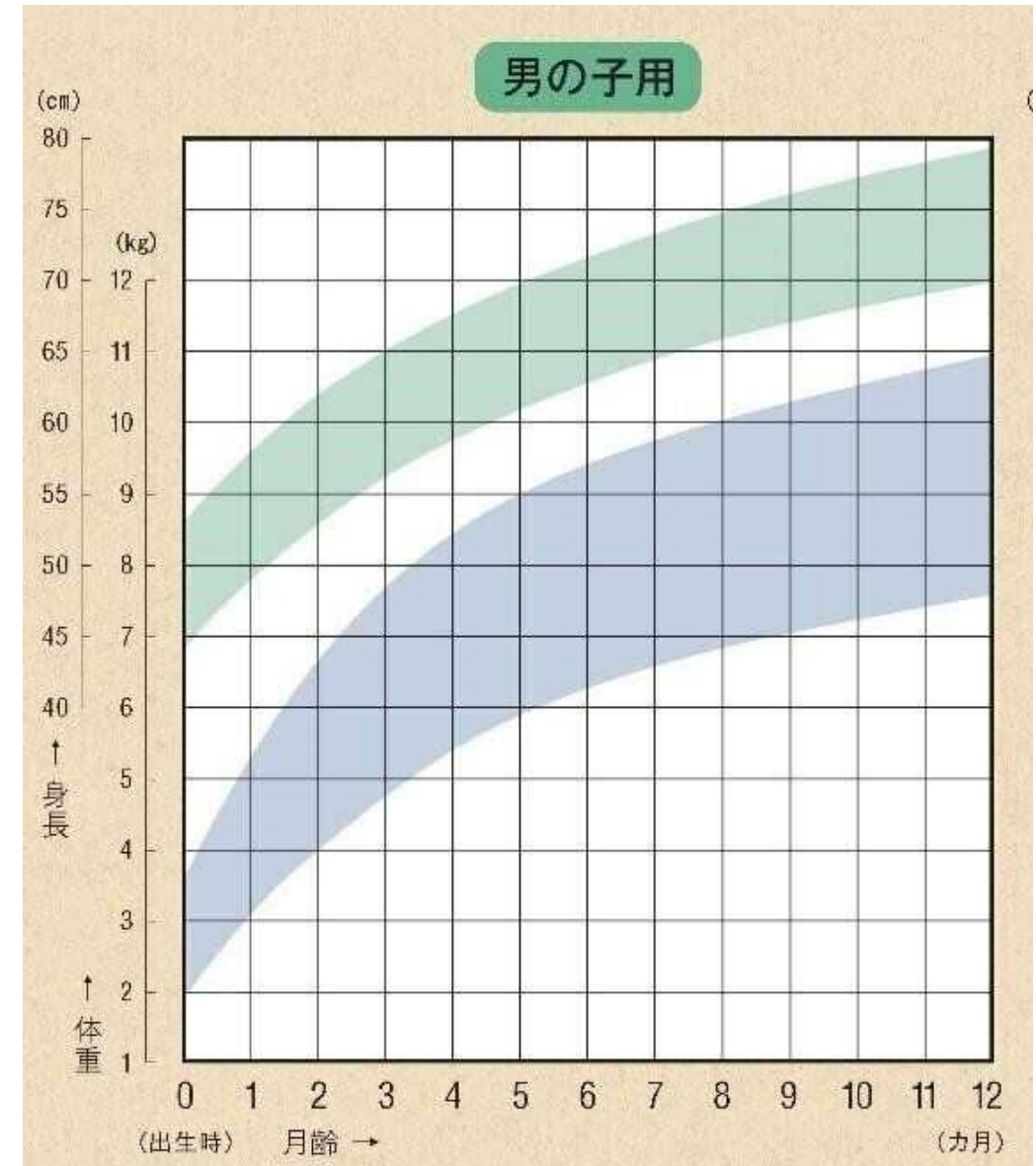
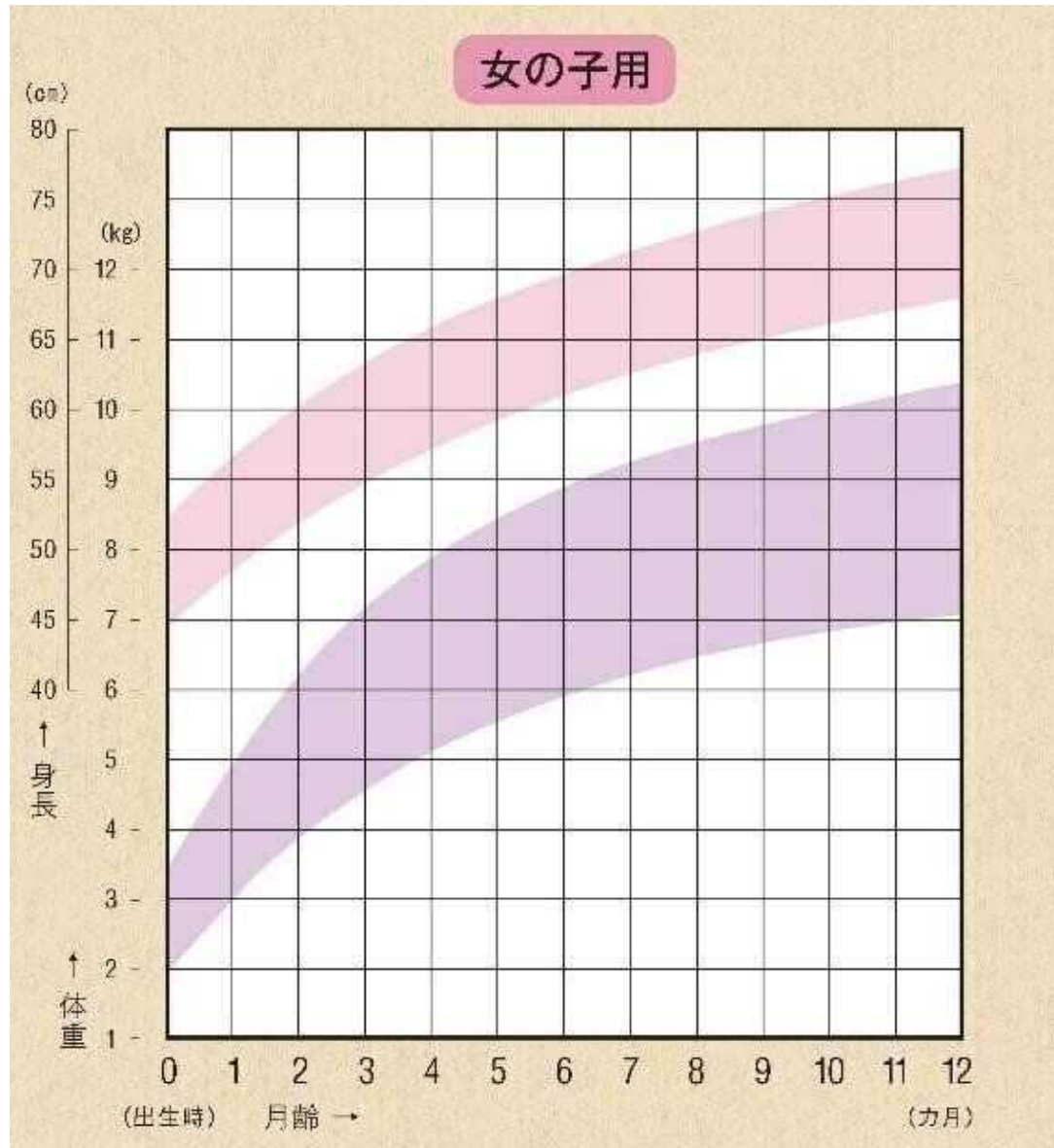
- ・身長は 約()cm増加
- ・頭囲は 約()cm増加
- ・胸囲は 約()cm増加

2週間～1か月健診
計画時の
参考値にしよう！



*** 母子健康手帳の発育曲線へ記入し、成長を確認する。**

1か月健診時のチェックポイント(発育曲線)



1か月健診時のチェックポイント(発達は順調か)

3)原始反射

モロー反射, 緊張性頸反射, 吸啜反射,
追いかける反射, 把握反射, など

生後1か月なので、まだ原始反射が確認できる時期

4)視覚

目が合う⇒()ができるように。

ゆっくり左右に動かす⇒()(固視があれば
追視ができなくても経過観察。2か月ごろまでに確認できればOK)

5)聴覚

突然の音に、ビクッとしたり、手足を伸ばしたり、泣き出したり
閉眼する。近くの音にはゆっくりと顔を向ける。

ガラガラの音や声掛けに対して機嫌がよくなったり、泣き止む

先天異常や疾病が疑われる症状や徴候がなく
健康状態は良好か

1)排便

- ・母子健康手帳のカラーカード①～③番
(胆道閉鎖症…胆道系疾患の早期発見)

2)黄疸

遷延性黄疸の有無
母乳性黄疸との鑑別

3)原始反射

4)股関節の開排

- ・先天性股関節脱臼の有無

5)スクリーニング検査の結果の説明

- ・先天代謝異常検査の結果(医師)

先天異常や疾病が疑われる症状や徴候がなく
健康状態は良好か

*母乳に関する黄疸

まだ肌が黄色っぽいのですが…(この時期に多い質問)

母乳に含まれる女性ホルモンの一種である**プレグナンジオール**が
肝臓でのグルクロン酸抱合を抑制するために起こる

- ・遊離ビリルビンはほとんど上昇しないといわれる
- ・安易な母乳中断は控える
- ・遷延性黄疸が疑われる場合は、原因の鑑別が重要！
便の性状、全身状態を確認。

栄養状態は十分であるか

- ・栄養の種類・哺乳の回数・間隔・飲み方・哺乳量

授乳回数:母乳:8~12回程度

人工:6~8回程度

- ・退院後からの哺乳量の目安:()ml/kg/日

* 母乳栄養児は、
哺乳量を量ることは
現実的ではない。
体重増加から
過不足を判断する。

体重1kgあたり
()kcalの栄養が供
給されるようになると、1日約
30gの体重増加がみられる

適切な養育を得ているか

ビタミンK投与

＊家庭でのビタミンK製剤の内服状況を確認する。

3か月法

予防接種の説明

＊接種開始時期は・・・（ ）

＊（ ）で予防接種可能なワクチンは

＊ 2024年4月から導入された5種混合ワクチンで予防できる感染症は？

適切な養育を得ているか

- ・母親の児への接し方、児に対する感情
- ・哺乳状況
- ・身体各部位の清潔保持の状態
- ・着衣の状態：着衣の枚数・素材が季節に合っている
着衣の清潔
おむつの当て方

1か月頃に多い相談（皮膚トラブル）

●おむつかぶれ

<対処>

- ・柔らかいおしり拭きで汚れを優しく取り除く。
微温湯で洗う（汚れをふやかすようにする）
- ・おむつはこまめに取り替える
（おむつ内は高温多湿）

カンジダ性皮膚炎や肛門周囲
膿瘍がある場合は小児科受診

●湿疹

顔や頭, 胸などの脂漏性湿疹

母親由来のホルモンの影響で脂肪分泌過多
になって起こる皮膚炎

<対処>

- ・石鹸を使って洗う。その際は, ガーゼなどで強く
こすらない（泡でやさしく洗う）
 - ・石鹸分はよく洗い流す
- ＊浸出液がみられる際には受診が必要

ベビーのスキントラブル
予防の基本は、清潔
保持と保湿！

1か月頃に多い相談（皮膚トラブル）

- ・まゆげや額にできる脂漏性湿疹は、かさぶたのようになり取りづらい場合が多い。
⇒ベビーオイルなどでふやかしてから洗う



哺乳の次に多い質問が皮膚トラブルに関すること



1か月頃に多い相談(その他)

●よく吐く

体重増加が順調で噴水様の吐乳でなければ問題ないケースが多い

- ・新生児の食道や胃は、胃内容物が口腔内へと逆流しやすい構造。
→生理的に溢乳や吐乳はよくある。体重増加、吐き方、吐物の性状を観察する。
排気(げっぷ)をこまめに行う。

●鼻がつまって苦しそう

- ・新生児の鼻腔は狭く、いびきのような寝息をたてることがよくある。
→普段どおりの授乳ができているか確認。濁った鼻汁になったり、うまく哺乳が出来なかったりして苦しそうなら、受診するよう説明。

●授乳(母乳不足感)

- 体重増加・排泄・活気等から充足かを確認。

特に1か月健診では、エンパワメント(自信をつけさせる)が最も必要とされる時期

母乳に関する相談は最も多い相談内容の一つ

事故防止

●窒息予防

- ・ やわらかい布団や枕は使わない（マットレスは固めがよい）
- ・ 口や鼻をふさぐ危険のあるタオルなどは、児の顔の近くに置かない。
- ・ 授乳後は排気を十分に行う。
- ・ 排気が出なかったら横向きに。

●誤飲予防

- ・ 近くに物を置かない。

●感染予防

- ・ 家族がうがい、手洗いを徹底する。
- ・ 必要以上に人ごみに児を連れださない。

車内に放置もしない
(短時間絵も非常に危険)

1か月健診以降に受診する小児科を探しておく

※平日のかかりつけ医、および夜間救急

- ・ 受診の際は・・・

「いつから」「どのような（症状）」

「どれくらい続いているのか」を医師に伝える。



- ・ #8000（こども医療電話相談）
- ・ 救急情報コントロールセンター
- ・ 地域の保健センターの子育て支援体制、相談窓口



法令に基づく健診の実施

<母子保健法>

第12条：市町村は，次に掲げる者に対し厚生労働省令の定めるところにより、健康診査を行わなければならない。

- ・ 満1歳6か月を超え満2歳に達しない幼児
- ・ 満3歳を超え満4歳に達しない幼児